

# 島根原子力発電所周辺空間放射線量率 (県内モニタリングポスト)の測定結果について

鳥取県内の弓浜半島では、13カ所(固定局2、可搬型11)において、空間放射線量率を連続監視する装置で計測し、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

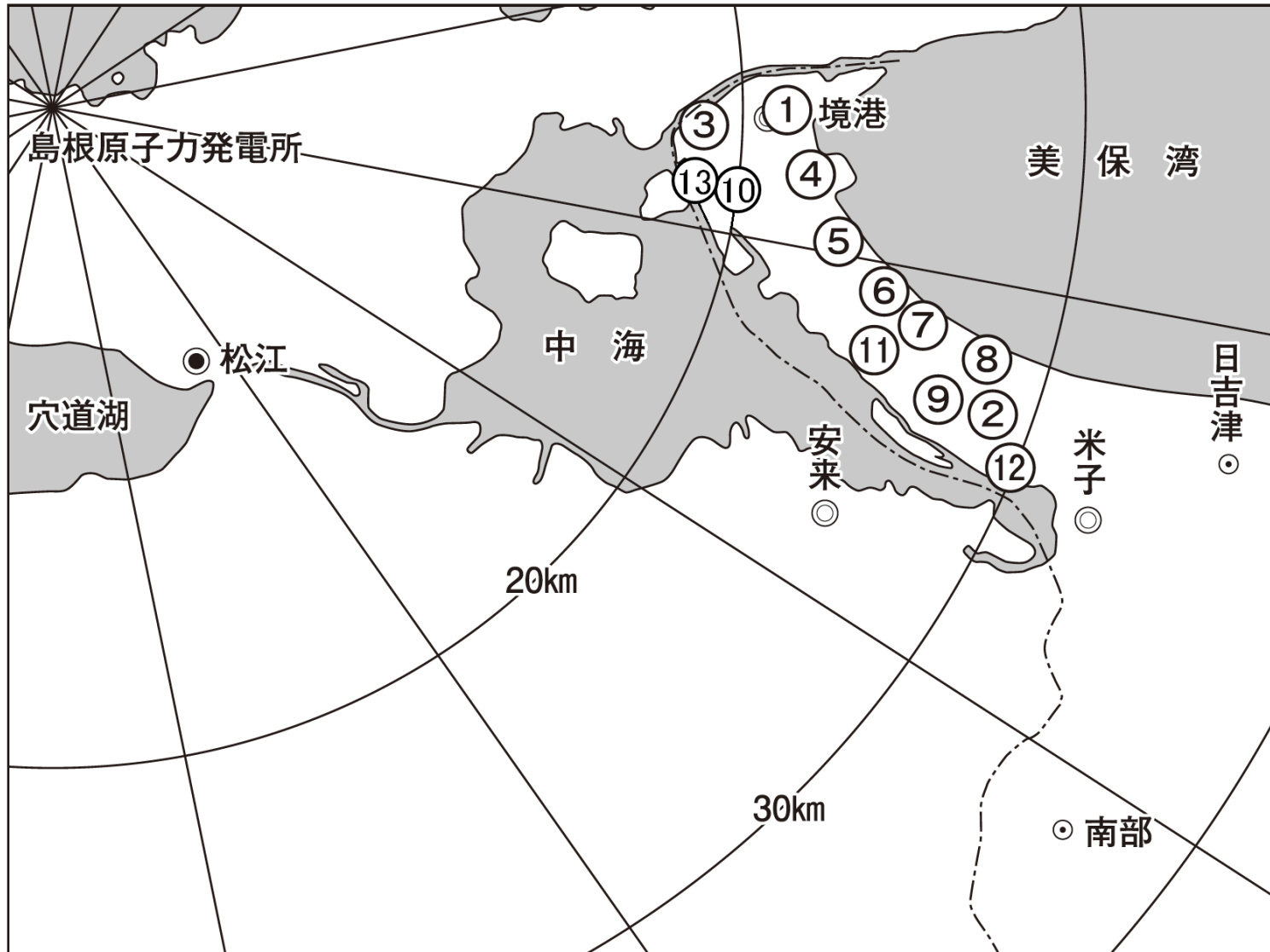


固定局 (境港局)



可搬型 (外江公民館)

## 【図 1 - 1 調査地点】



※平成30年度からは、⑬境港市渡町(光洋の里)においても緊急時に備え、可搬型モニタリングポストを設置し、稼働・通信訓練を実施しています。

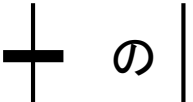

## <測定地点>


	測定地点	種類
①	境港市上道町(境港局)	固定型
②	米子市河崎(米子局)	固定型
③	境港市外江町(外江公民館)	可搬型
④	境港市竹内町(余子公民館)	可搬型
⑤	境港市財ノ木町(中浜公民館)	可搬型
⑥	米子市大篠津町(大篠津公民館)	可搬型
⑦	米子市和田町(和田公民館)	可搬型
⑧	米子市夜見町(夜見公民館)	可搬型
⑨	米子市彦名町(彦名公民館)	可搬型
⑩	境港市渡町(渡駐在所)	※可搬型
⑪	米子市大崎(大崎駐在所)	※可搬型
⑫	米子市旗ヶ崎(旗ヶ崎駐在所)	※可搬型
⑬	境港市渡町(光洋の里)	※可搬型(30年度～)


※⑩～⑬の可搬型モニタリングポストについては、緊急時対応用

鳥取県が、平成30年度の調査結果を  
検討・評価したところ、島根原子力発電所による  
環境への影響は認められませんでした。

令和元年度（令和元年12月まで）においても、  
数値の変化は認められておりません。

次の図中  の （縦線）は、1時間値の最低値から最高値までを表しています。

（太い横線）は、1時間値の平均値を表しています。

 は、過去の年度を表しています。

※12月～においての最高値に関しては、降水等に伴う自然放射線の影響と推察

### 放射線量率の異常値の基準は？

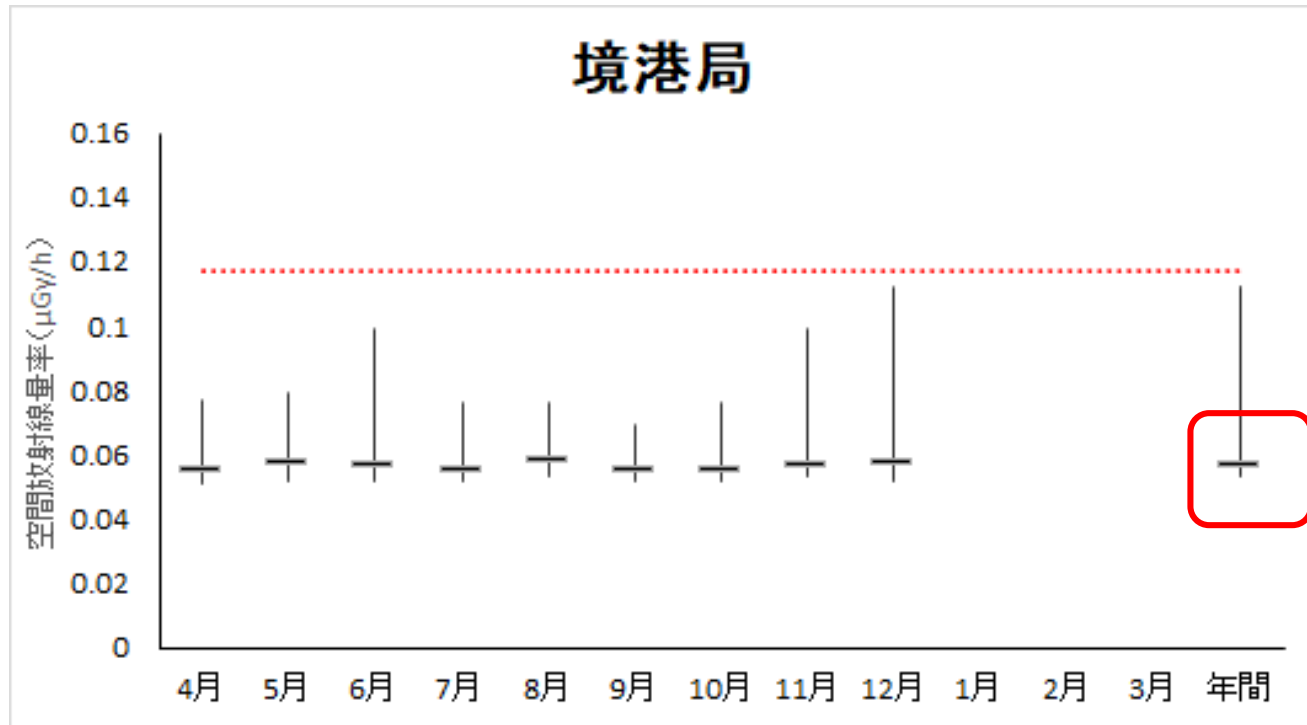
220ナノグレイ/時(nGy/h)を超えると、県は、原因を調査します。この値は、中国電力との安全協定通報基準値となっています。この値は、国が定めた通報基準値5,000nGy/hよりも低い数値であり、人体に影響を与えるレベルより、はるかに低い値です。

220ナノグレイ/時(nGy/h) = (表での値では、0.22μGy(マイクログレイ)/hとなります)。4

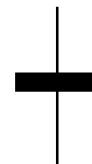
# 令和元年度環境放射線等測定結果（速報）

【空間放射線（線量率）】

【固定型モニタリングポスト】



凡例



1時間値の最高値

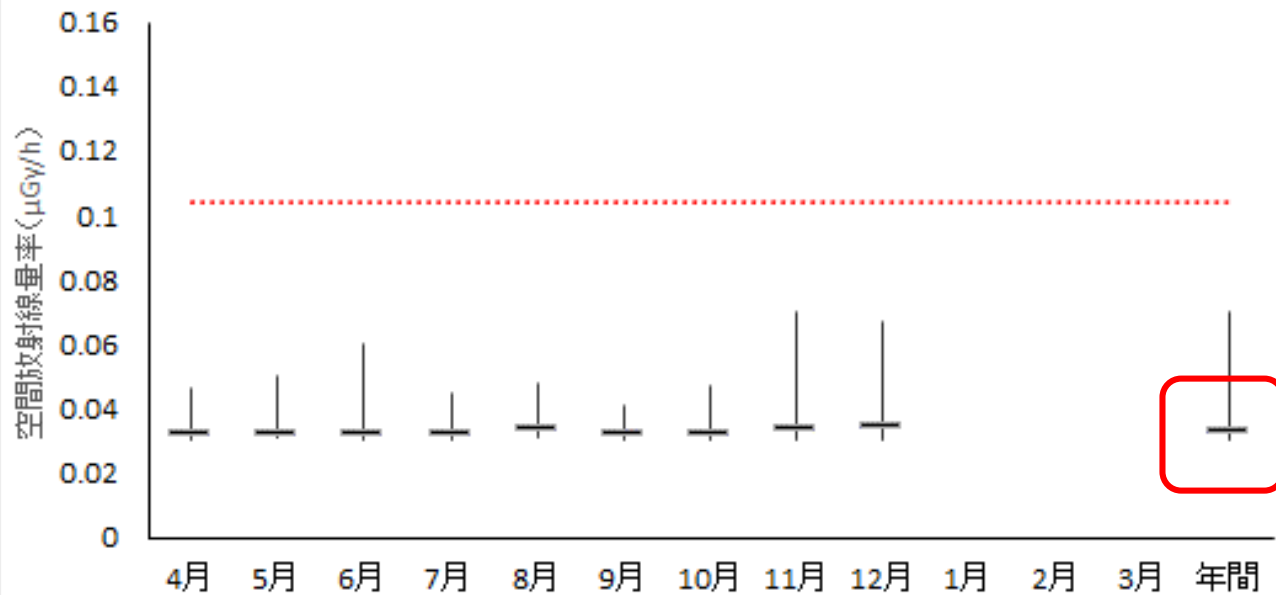
1時間値の平均値

1時間値の最低値

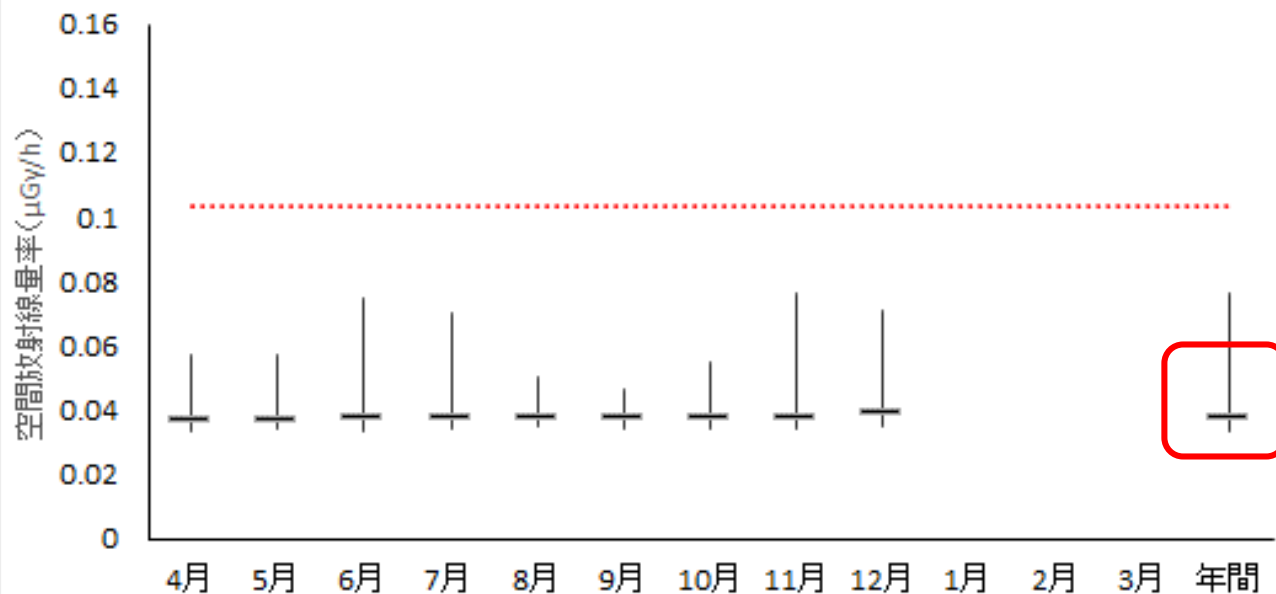
注：点線はH25～30年度の最高値を示す。

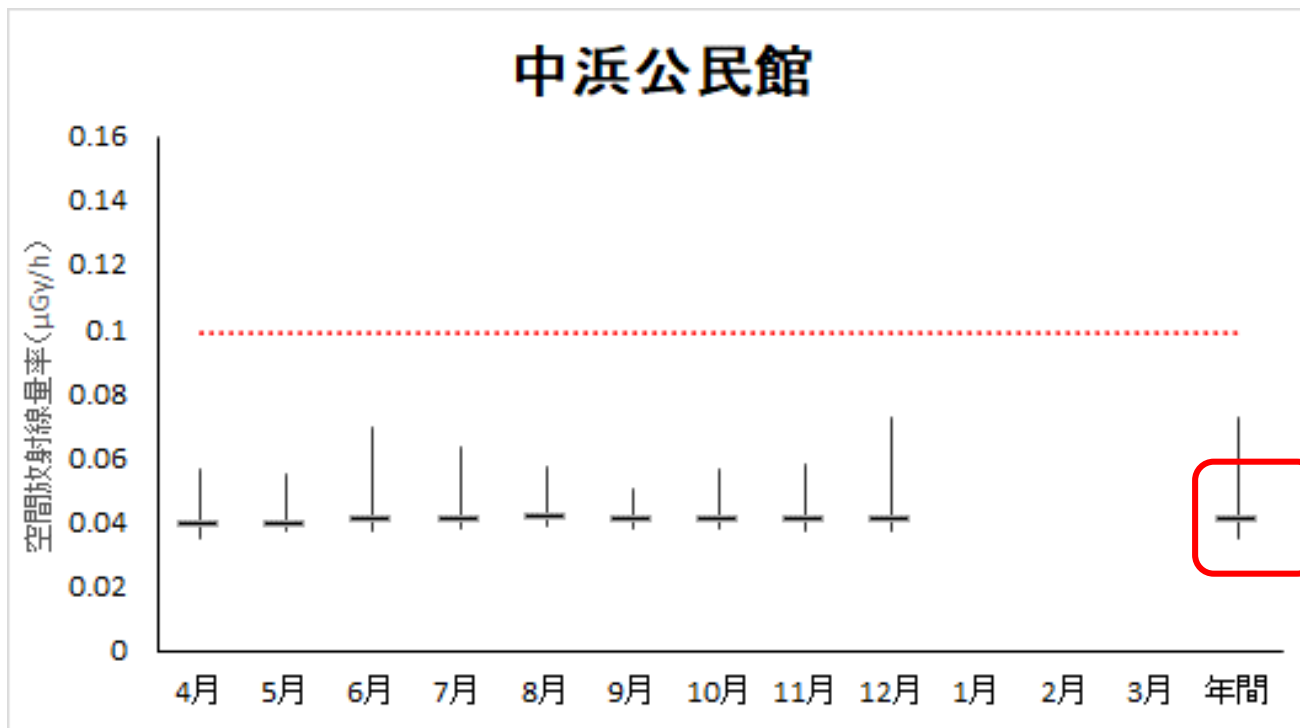
# 外江公民館

【可搬型モニタリングポスト】



# 余子公民館





令和元年度(第3四半期まで)の島根原子力発電所に係る  
平常時モニタリング結果については、過去の測定結果と  
同レベルであった。



# 可搬型(緊急時対応用)モニタリングポストの稼働・通信訓練の結果について

緊急時に備え、4地点において可搬型モニタリングポストの連続稼働・通信訓練を実施し、年間を通じて安定した稼働状態であることを確認した。

項目	測定地点
線量率	境港市渡町 (光洋の里) ⑫
	境港市渡町 (渡駐在所) ⑬
	米子市大崎 (大崎駐在所) ⑭
	米子市旗ヶ崎 (旗ヶ崎交番) ⑮



※平成30年度からは、**⑬境港市渡町 (光洋の里)**においても緊急時に備え、可搬型モニタリングポストを設置し、稼働・通信訓練を実施した。

## 【測定結果】

地点	区分	(単位: $\mu\text{Gy/h}$ )	
		H30 年度	(参考) H26~29 年度
⑫ 光洋の里	最高値	0.113	—
	最低値	0.029	—
	平均値	0.057	—
⑬ 渡駐在所	最高値	0.100	0.126
	最低値	0.050	0.038
	平均値	0.057	0.059